



ふるさと 玉名市の 今

Vol.10
2018
March

祝 菊池川流域日本遺産認定
祝 大河ドラマに金栗四三氏
玉名の景観 ～玉名市をかたろく～

高瀬裏川花しょうぶまつり

期間 5月25日～6月9日

場所 高瀬裏川水際緑地周辺

6万6千本の花しょうぶが咲き誇る。期間中は特設ステージでのコンサートほかさまざまなイベントを開催。夜間はライトアップされより幻想的な雰囲気。

いま、注目が集まる“たまな”
ここにしかない風景があります

玉名の景観

玉名市は平成28年6月に景観行政団体に移行し、
平成28年9月に「玉名市景観計画」を策定しました。

平成29年4月、玉名市内の史跡や文化財などが菊池川流域の『米作り、二千年にわたる大地の記憶』の一部として「日本遺産」に認定されました。

また、玉名市名誉市民であり「日本マラソンの父」として称えられる金栗四三氏が、2019年NHK大河ドラマ「いだてん」の主人公の一人に選ばれました。

今、歴史的・文化的資源、それを育んだ豊かな自然といった玉名の景観が注目を集めています。玉名市では、こうしたふるさと玉名の魅力を最大限に生かしながら、10年先を見据えた県北の拠点都市作りに取り組んでいきます。

日本遺産認定

米作り、二千年にわたる大地の記憶

〔菊池川流域「今昔『水稲』物語」〕

菊池川流域（玉名市・山鹿市・菊池市・和水町）のストーリー「米作り、二千年にわたる大地の記憶」菊池川流域今昔『水稲』物語」が、平成29年4月に日本遺産に認定されました。

日本遺産 (Japan Heritage) とは、「地域の文化遺産を国内外にアピールし、多くの人にその地へ来てもらう」ことを目的とした、文化庁で認定が始められた制度です。

今後は、流域各市町で連携を深めながら、構成文化財の価値をさらに磨きあげ、観光や地域振興に役立つ事業を推進していきます。



ストーリーの概要

菊池川流域には、二千年にわたる米作りによる大地の記憶が残っている。

平地には古代から受け継がれた条里、山間には高地での米作りを可能にした井手（用水路）と棚田、そして海辺には広大な耕作地を生み出した干拓。

米作りを支えた先人たちによる土地利用の広がり、今も姿を留め、その全てをコンパクトに見ることができる。

更に賑やかな祭りや豊かな食という無形の文化も息づくなど、菊池川流域は古代から現代までの日本の米作り文化の縮図であり、その文化的景観や米作りがもたらした芸能・食文化に出会える稀有な場所なのである。

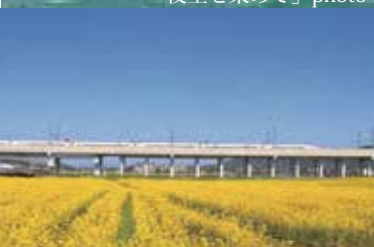
【主な構成文化財】 菊池川、菊池川流域の弥生時代の大集落遺跡群、菊池川流域の装飾古墳群、菊池川流域の条里跡、鞠智城跡、旧玉名干拓施設、菊池の松囃子、菊池川下流域船着場跡、高瀬御蔵跡・御茶屋跡、八千代座、梅林天満宮流鏝馬、コノシロ寿司、ガネめし、赤酒など



「夜空を染めて」 photo by 与古田弘



「鉄橋」 photo by 早川昇



「春を走る」 photo by 竹中京一



「藤のトンネル」 photo by 谷津由利子



「伝統地引網」 photo by 門脇一啓



「奥の院の冬景色」 photo by 村上則男



「草枕温泉の彩り」 photo by 東トミ子



「流鏝馬」 photo by 野口英世



「力走」 photo by 河本泉

玉名市をかたろう

私たちのふるさとには、小岱山や熊ノ岳・三ノ岳などの山々、有明海、菊池川など豊かな自然に恵まれています。その恵みを受けた先人たちの豊かな暮らしや営みによって、玉名市の風景は形づくられてきました。

古代・中世に築かれた装飾古墳や遺跡
広大な玉名平野の田園風景

江戸から昭和にかけて栄えた高瀬の町並み
大規模な干拓事業を象徴する旧玉名干拓施設群

干潟と海苔ヒビの向こうに雲仙普賢岳を望む有明海
漱石の愛した湯と石積みのみかん畑 などなど…

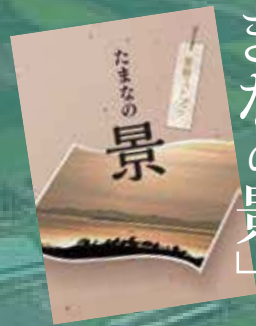
こうした人々の暮らしや営み、歴史に裏付けされた「玉名らしい」景観は、知れば知るほど味わい深い魅力があります。それを受け継いだ私たちが、おおいに玉名市の景観を語り、まちづくりにかたろう。ことで玉名市の景観が高められ、何ものにも代えがたい「玉名らしさ」をつくっていくのです。

「玉名市景観計画」に謳う本市の景観の将来像は、
「菊池川が育んだ味わい深い景観をかたるまち」

玉名市に住む皆さんも、玉名市を離れたみなさんも、ふるさととの風景に思いをめぐらしながら、存分に「玉名市」をかたらいましょ。

景観フォトブック

「たまなの景」



観光フォトコンテストの入賞作品の中から、景観を視点にフォトブックとしてまとめました。ご希望の方は、建設課(☎0968・75・1122)までご連絡ください。また、玉名市ホームページでもご覧になれます。

※“かたろう” … 「語る」・「かたろ(熊本弁の“仲間に加わる”)」

金栗四三さんが 大河ドラマの主人公に



上小田の池部家の養子となり、小田校区で後半生を暮らし、お墓もある玉名市名誉市民の金栗四三氏。その金栗さんが、2019年のNHK大河ドラマ「いだてん」の主人公に選ばれました。「オリンピック」に初参加した男」として、歌舞伎俳優の中村勘九郎さんが演じます。

この機会に金栗さんをさらにPRし、地域活性化につなげるため、玉名市、生誕地の和水町、通学した小学校のある南関町、県振興局とで連携協議会を設立しました。1市2町には金栗さんの遺品やゆかりの地があり、金栗杯玉名ハーフマラソン大会など顕彰イベントも多数開催されています。

これから観光や経済、文化関係の民間団体とも連携し、地域一体となった取り組みで情報発信や観光客誘致を進めていきます。

2019年大河ドラマ（第58作）2019年1月放送開始（全47回）

いだてん ～東京オリンピック噺（ばなし）～

【作】宮藤官九郎 【音楽】大友良英 【制作統括】訓覇 圭、清水拓哉

【主な出演者（金栗四三関係）】

中村勘九郎（主人公・金栗四三役）、綾瀬はるか（金栗四三の妻・春野スヤ役）、生田真真（金栗四三の盟友・三島弥彦役）、大竹しのぶ（金栗四三の養母・池部幾江役）、役所広司（金栗四三の恩師・嘉納治五郎役）



【申込方法】インターネットでお申し込みいただくか、玉名市役所財政課（☎0968・75・1112）までお問い合わせください。

寄附の金額に応じ複数のお礼の品の中からご希望の品をお送りしています。

※内容は、時期により変わることがあります。



玉名市「ふるさと納税」のご案内

きらり輝く玉名市を目指して、玉名市では「ふるさと玉名」を応援して下さる人を募集しています。

「ふるさと納税」とは、現在お住まいの自治体へ納税されている個人住民税及び所得税の一部を、応援したい自治体へ寄附というかたちで納税できる制度です。一定の限度額内で寄附をされると、2千円の自己負担額を除いた金額が住民税と所得税から控除されます。

ふるさと納税の使い道は、福祉、環境、音楽と花など、6種類の中から選ぶことができます。

市長あいさつ

昨年11月に、多くの市民の皆様のご支援を賜り、合併後三代目の市長として、未来への舵取り役を務めさせていただくことになりました藏原でございます。

就任して四カ月、玉名市が置かれている現状や、抱える課題の大きさを実感するとともに、改めて、市政を預かる者としての職責の重さを感じながら、信念と責任を持ち、「玉名はもっと輝ける」というスローガンを掲げて、10年先の未来を見据えた、県北の拠点都市づくりに取り組み、市民一人一人が笑顔で暮らせるまちづくりを実現するために、全力を傾注してまいります。

一昨年の熊本地震では、震災関連死を含め、約200人の方がお亡くなりになっており、心よりご冥福をお祈りする次第であります。幸い、玉名市においては、人命にかかわるような被害は発生しておりませんが、家屋の倒壊や屋根瓦の損傷等、多くの被害が発生いたしました。

そこで本市では、国の補助制度が適用されない被災者の方々を対象に、独自の補助制度を創設し、被災された皆様の支援を行ったところでございます。

早急な地震の復旧・復興を願うとともに、これからも様々な施策に取り組んでまいりますので、引き続き皆様方のご協力をお願いいたします。

玉名市長
藏原 隆浩

